



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2010年12月-2011年1月号

Vol.17

支援者の皆様へ

11月の宮古島から



支援者の皆様、こんにちは。宮古島からこのレターを書かせていただいています。2007年に初めてこの場所を訪れて以来、宮古バプテスト教会、聖ヤコブ教会の二教会が毎年お招きくださり、今年も9日間の滞在をさせていただいています。

私にとって大きな変化の連続であった2010年も、あと2カ月で終わろうとしています。お世話になった団体から

離れ、息つく間もなく新団体設立の準備を始め、6月にアリゾナにパートナー団体のDNAを訪ね、9月から正式に「声なき者の友」の輪（F V I）として活動を始めました。その間にも全国各地での奉仕や事務局体制、ホームページ等の整えに奔走しました。大変消耗する日々でしたが、神様が通らせてくださった、私が通るべき道程の一部であったと感謝をもって振り返っています。そして言うまでもなく、それを可能にしてくれたのは、神のお助けに加えて、皆様の祈りによる支えがあったからでした。

一方で、私は自分と神様との関係や「自分の深部にある想いや感情」、深い部分での「召し」について個人的にゆっくり時間を取って考えることを怠ってきたことを反省しています。神との深い交わりによって与えられる、心の深い部分から来る確信に基づいて働きをしていくという基本にもう一度立ち返る必要を感じています。特に何もしなくても「忙しいような気がする」東京での生活を離れ、様々な非生産的な思い煩いが、宮古島の空気によって「解毒」されていく感覚があります。どのような仕事（働き）にも言えることですが、「原点に立ち返る」ことは、今の私に特に必要なことだと思われています。私が神の声を聴き、神の心を知ることができるよう、そして神の願いを自らの願いとして活動していけるように、お祈りいただけたら幸いです。

世界食糧デー大会 郡山大会

10月30日の、世界食糧デー郡山大会でのバザーや募金で集まった寄付金の一部は、F V Iを通してインド・オリッサ州における人と社会のトータルな変革の取り組みのために捧げられます。オリッサ州でのプロジェクトを日本の方々に紹介させていただくことは、私にとって幾重にも感慨深い機会となりました。2008年夏、インドに滞在中の私は、オリッサ州カンダマール地区における、ヒンズー原理主義者たちによる教会の弾圧事件についての情報を日本に伝えました。多くの方がそのためにとりなし祈ってください、私の友人のバルー氏も、オリッサ州の義理の母親を通じて「エベネゼル財団」をオリッサ州に設立し、家を失った牧師たちの家族のために住居を提供するなどの援助を行っていることを伝え聞いていました。あれから2年が経過し、私が福島県で紹介させていただいているプロジェクトのリーダーは、その「エベネゼル財団」の設立に関わったナヤクさんとそのご家族です。

神の遠大な御計画の中で、私がインドという国の、特に虐げられたダリット（カースト制度による被差別部落）の方々のために、今も関わりを持ち続けさせていただいてくださっていることを思うと、神を恐れ、へりくだらされる思いがいたします。自らの至らなさを日々感じていますが、それにもかかわらず、敢えてこのような者を用いてくださる神にご栄光が帰されますよう願っています。

皆様もF V Iのグローバル活動を通して、オリッサ州でのダリット集落の変革プロジェクトを支援していただくことが出来ます。詳しくはホームページ <http://www.karashi.net> または、陣内まで直接お問い合わせください。



左：オリッサ州のプロジェクトメンバーたち。ダリットコミュニティにて、保健衛生、教会開拓、小学校教育、女性のリーダー訓練等の全人的、総合的な開発に取り組む。

右：2008年に襲撃を受け、家を燃やされた牧師家族。バルー氏、ナヤク氏らの「エベネゼル財団」の援助を受ける。

各地での奉仕と活動（2010年10月～11月）

皆様のお祈りによって支えられ、10月、11月にも様々な場所で奉仕させていただきました。関係する教会、団体の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。奉仕地：ユアチャーチ（群馬県）、世界食糧デー大会郡山大会（福島県）、なる堵（埼玉県）、伊那福音教会（長野県）、宮古バプテスト教会、聖ヤコブ教会、希望が丘教会他（沖縄県）練馬グレースチャペルなど（東京都）

紹介したいチームメイト

柳沢美登里 (神奈川県在住 F V I グローバル活動責任者)



柳沢美登里氏は、宣教の心、実践経験、知識を兼ね備えた、世界でも稀な「神の人」であると思います。このような方を「先輩」に持ち、共に働ける特権を心から感謝しています。

柳沢さんに初めてお会いしたのは、2008年のことでした。その年の6月から9月まで、インドにおける全人宣教の働きの現場での実地研修のため、私は首都デリーとウッダル・プラデシュ州のある農村地区に滞在しました。そこでの現地の団体（SALT イニシアチブと Nav Vikas Social Trust）とのコネクションを作り、11年間バングラデシュで開発と自立支援の現場で働いてきた経験を持っている柳沢さんから、私は海外で主と人々にお仕えすることの「イロハ」を学びました。インドにいる間中病気をしていた私の報告メールに、海外の文化に適応することや、日本人のかけている「メガネ」を外すこと、日本の常識が世界では非常識であること、そして何より、神の導きに敏感であり続けることを私は柳沢さんから学びました。2008年の経験は私の生涯でも最高のオン・ジョブ・トレーニング（OJT）のひとつでした。現在も

F V I カタリストのひとりとして、柳沢さんから学ばされることは多くあります。そのすべてをここに全て挙げることは難しいですが、最も私が学ばされる点が3つあります。

1. 神との深い関係を何よりも優先するという姿勢

どんなに忙しくても、世界のどのような場所においても、一日最低でも1時間の、神様との「静まる時間」を持ち、聖書の言葉と向き合うという生活は、私が模範にしたいと思っていることのひとつです。氏が実践している「メディテーション（瞑想、静思の時）」についても、いまだに多くを教えていただいています。

2. 海外の実践家と、顔と顔を合わせるためにフィールドに足を運び続ける現場主義

1年のうちの数カ月は必ず海外の現場に滞在し、自らの目で働きを評価し、学び、関係を構築していく働き方に刺激され、私も見習いたいと思わされます。

3. 「欧米の神学」に代表される、「正統的」であるとされるものを疑ってかかる独自の視点と切り口

先入観や一般常識、前例や思い込みという眼鏡をはずし、今世界で起こっていることを自らの足と目を使って観察し、分析し、神との深い交わりから与えられる確信に基づいて行動を起こす、という点において、柳沢さんは卓越しています。柳沢さんのインプットは、私に多くの重要な気付きを与えてくれます。

F V I の大切なチームメイトであり先輩である柳沢さんの働きのために、皆様からもお祈りいただければ幸いです。

祈りの課題

◇私のうちにキリストの似姿が形作られるように。

◇F V I カタリスト 3名のチームワークが強固なものになっていくように。今は特に事務局機能のために。

◇良き出会いがあるように。神が出会わせたいと願っておられる個人やグループと出会う事が出来るように。

今後の予定

月日	内容	場所
2011年12月13-15日	F V I リトリート	万座温泉ホテル
2011年1月31日	F V I 役員会	万座温泉ホテル
2011年1月9-10日	ビジョン・カンファレンス	草加教会
2011年2月	DNAフォーラムに参加	南アフリカ
2011年2月～3月(未定)	パートナー団体の模索	エチオピア等
2011年1月16日	礼拝メッセージ	I C B C (愛知県)
2011年5月初旬	ビジョン・カンファレンス	愛知県蒲郡市
2011年6月	DNAリーダー会議	アリゾナ(アメリカ)
随時継続的に	国内啓発活動、フォローアップ	国内各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」

Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-9-1889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名(店番)：〇八九(ゼロハチキュウ)(089) 預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

* ブログから Prayer Letter をダウンロードくださった方でも、お手数ですが上のいずれかの方法で支援金をお振り込みください。振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。振込用紙、ご案内を送らせていただきます。

* 2カ月に一度、プレイヤーレターに2枚(2か月分)お送りさせていただく振替口座の振込用紙(赤色・手数料当方負担)を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。

* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。